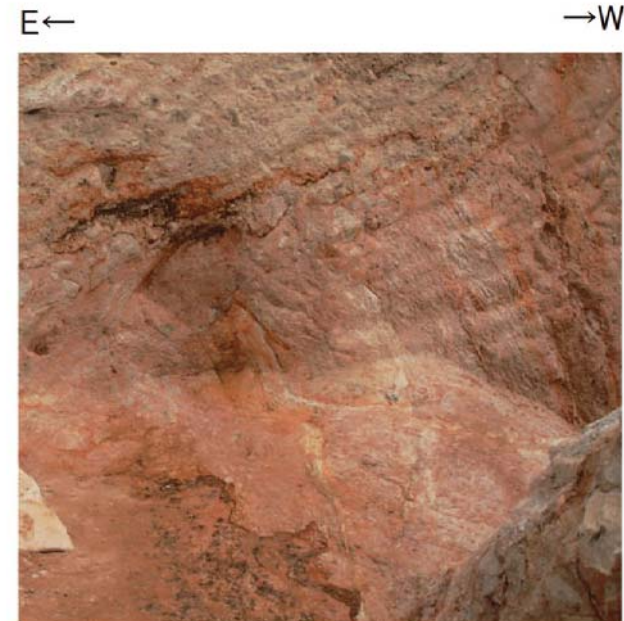
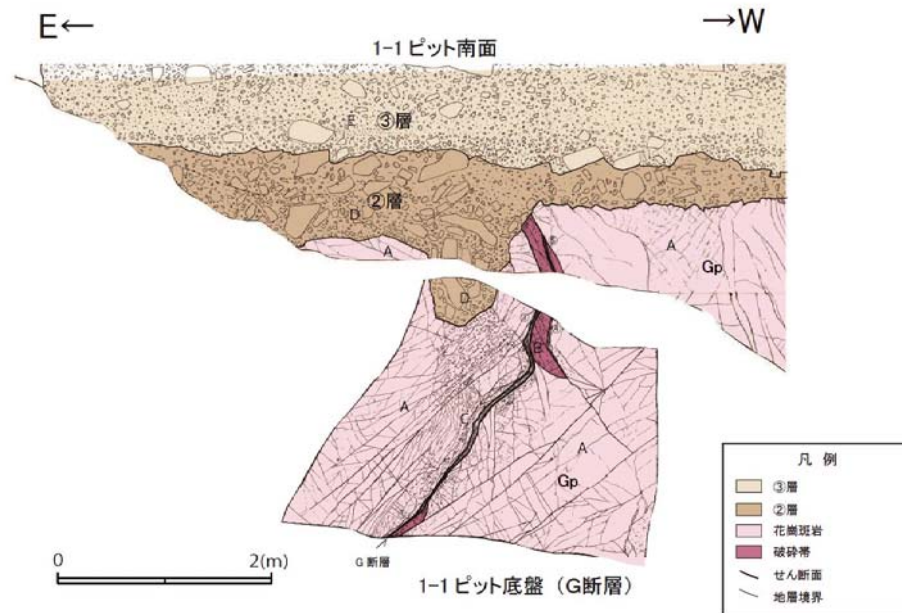




- ① fN17° E/63° W 断層ガウジ (灰白色粘土: 幅 5mm)
- ② fN10° E/69° W 断層ガウジ (灰白色粘土: 幅 30 ~ 50mm)
- ③ fN1° E/73° W 断層ガウジ (灰白色粘土: 幅 10 ~ 30mm)
- ④ fN9° W/69° N 断層ガウジ (灰白色粘土: 幅 5 ~ 15mm)
- ⑤ fN2° W/62° W 断層ガウジ (灰白色粘土: 幅 12 ~ 20mm)

f: せん断面

※走向は偏角未補正である。

A: 花崗斑岩 (強風化部): 浅黄橙~にぶい黄橙色 (7.5YR8/3 ~ 10YR7/4)。

シルト混じり砂質礫状。全体的に変質を受け、非常に脆弱である。

B: 花崗斑岩質カクレサト: 灰白色 (7.5YR8/2)。

礫混じりシルト質砂状。全体的に変質を受け、やや軟質である。

C: 断層ガウジ: 橙~浅黄橙色 (7.5YR7/6 ~ 10YR8/3)。

砂混じり粘土。周辺に珪質部を伴い、非常に軟質である。

D: シルト質砂礫:

礫率 20 ~ 40%。礫は径 20cm 以下の角~亜角礫主体。

基質はシルト、及び細~中砂からなる。

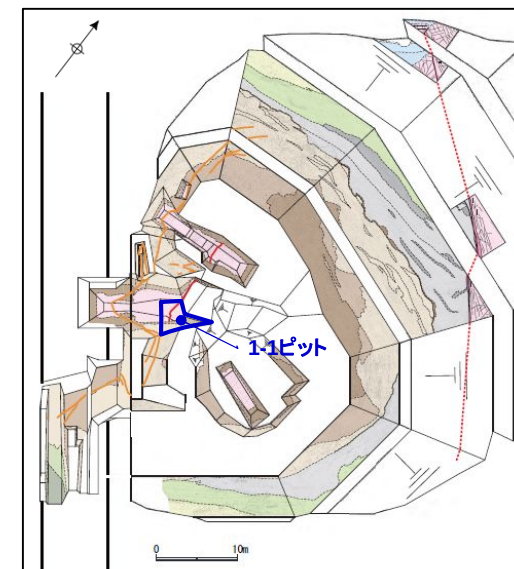
E: 砂礫:

礫率 25 ~ 50%。基質は径 20cm 以下 (最大径 70cm) の亜角礫を含む。

基質は中~粗砂で、淘汰は悪い。

上部においては、砂質シルト~シルトをレンズ~層状に挟む。

0 2(m)



G断層は、②層には変位・変形を与えていない。